

学 会 報 告

日本フードシステム学会

薬師寺 哲郎

2002 年度日本フードシステム学会大会が 2002 年 6 月 15 日（土）および 16 日（日）の両日、日本獣医畜産大学において開催された。

本学会は、1994 年 5 月にフードシステム研究会として発足し、その後登録学術研究団体の承認を受けて、1997 年度大会で「日本フードシステム学会」と名称変更したものであり、今年度は 9 回目の大会となる。本学会は、農漁業生産、食品産業全般および食料消費に係るフードシステム関連領域一般に関する理論とその応用について研究し、学際的な研究および食品産業界、食品行政当局、学者研究者の間での官産学共同の研究を推進することとしている。

1 日目は、生源寺真一（東京大学）、佐々木輝雄（日本獣医畜産大学）両氏の座長の下に「フードシステムにおける食品産業と農業の提携条件」というテーマでシンポジウムが開催された。シンポジウムでの報告は以下の通りである。

1. 「食品産業と農業の戦略的提携の課題」
斎藤修氏（千葉大学）
2. 「食品産業のグローバル化のもとでの国内農業の課題」
下渡敏治氏（日本大学）
3. 「アグリフードチェーン安全管理システムの開発と政策——EU 食品安全白書と EFSA（ヨーロッパ食品安全庁）——」
松木洋一氏（日本獣医畜産大学）
4. 「リサイクルシステム構築のための提携条件と展望」

大村省吾氏（東京家政学院短大）

これらの報告に対し、茂野隆一（筑波大学）、柴田明夫（丸紅経済研究所）、石川廣（日本生

活協同組合）、小山周三（西武文理大学）の 4 氏からのコメント・討論が行われた。

2 日目は、午前中二つのセッションが開催され、午後は個別報告であった。

セッション は、中島紀一氏（茨城大学）を座長とし、「資源循環型フードシステムの技術と経営の課題」というテーマの下で、

1. 「飼料化という視点での技術・経営課題」

阿部亮氏（日本大学）

2. 「八王子市、立川市食資源循環システム作り——地域連携型のモデル——」

松村紀久子氏（株）有機醗酵）

3. 「横浜市における飼料化の技術・経営課題」

石川美枝子氏（横浜市教育委員会
養護教育総合センター）

の三つの報告と討論が行われた。

セッション では、木立真直氏（中央大学）を座長とし、「小売業競争のグローバル化と日本型フードシステムへのインパクト」というテーマの下に、以下の三つの報告と討論が行われた。

1. 「小売業のグローバル化と国際比較」
二神康郎氏（国際流通研究所）
2. 「アメリカにおける食品流通と ECR」
長島信一氏（財）流通経済研究所）
3. 「小売主導型流通システムと食品卸売業の再編戦略」

菊池宏之氏（流通政策研究所）

個別報告は、合計で 32 の報告が行われ、当研究所からは、中田哲也研究員による「フード・マイレージの試算について」、薬師寺哲郎研究員による「自主流通米の価格形成と計画外流通米との競争」の二つの報告が行われた。

なお、今年は、理事・監事の改選期に当たり、総会において、新しい理事・監事が決定された。また、新理事会において、これまで当学会の前身のフードシステム研究会以来会長の職にあった高橋正郎氏（女子栄養大学）に代わり、生源寺真一氏を新会長に選出した。